

令和8年（2026）5月 入域観光客数概況（速報）

83万2,500人
対前年（R7）同月比 ▲1万100人、▲1.2%
～5月としては過去3番目～

入域状況

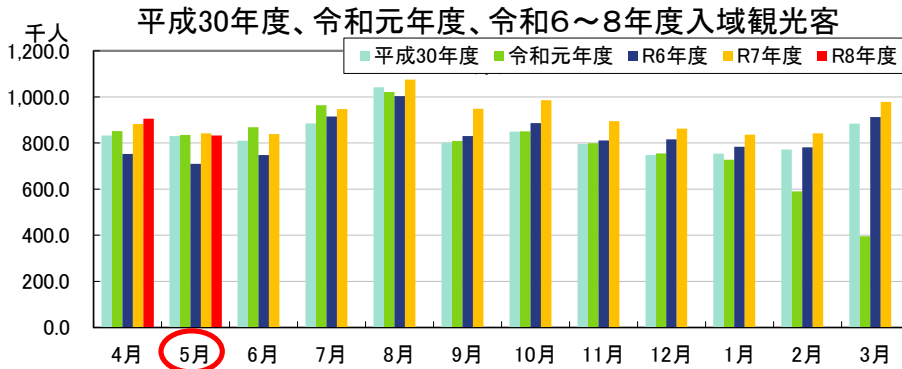
入域観光客数（R7年度と※R元年度との比較）

区分	R8年度	R7年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
国内客	612,600人	601,000人	+11,600人	+1.9%	73.6%	566,500人
空路	607,800人	588,300人	+19,500人	+3.3%	73.0%	556,300人
海路	4,800人	12,700人	△7,900人	△62.2%	0.6%	10,200人
外国客	219,900人	241,600人	△21,700人	△9.0%	26.4%	268,400人
空路	190,300人	166,700人	+23,600人	+14.2%	22.9%	162,300人
海路	29,600人	74,900人	△45,300人	△60.5%	3.6%	106,100人
合計	832,500人	842,600人	△10,100人	△1.2%	100.0%	834,900人

※外国客には、海路における乗務員等11,200人を含む。

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、同庁公表後の令和8年8月の公表を予定しています。

※国内空路のうち、ソラシドエアについては、5/1～5/18までの実績を集計。5/19～5/31の実績については、確定版にて反映予定です。



国内客 入域状況

5月は、ゴールデンウィークの旅行需要を見込んだ航空会社の増便・臨時便があったことから、前年同月を上回った。特に、東京・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

6月は、台風による影響が懸念されるが、航空会社の増便・臨時便があることや国内発着のクルーズ船の寄港が予定されていることから好調に推移すると見込まれる。

国内客 地域別入域状況

区分	R8年度	R7年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
東京方面	291,100人	281,100人	+10,000人	+3.6%	47.5%	253,300人
関西方面	136,700人	137,300人	△600人	△0.4%	22.3%	131,300人
福岡方面	75,200人	73,500人	+1,700人	+2.3%	12.3%	69,100人
名古屋	53,500人	49,200人	+4,300人	+8.7%	8.7%	47,700人
その他	56,100人	59,900人	△3,800人	△6.3%	9.2%	65,100人
合計	612,600人	601,000人	+11,600人	+1.9%	100.0%	556,500人

参考：国内線経由入域外国人数 約56,900人（航空会社ヒアリングにより推計値を算出）

（注）推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。